

平成 1 9 年度

財政援助団体監査報告書

仙北市監査委員

仙 監 発 第 3 0 号
平成 2 0 年 5 月 3 0 日

仙 北 市 長	石 黒 直 次 様
仙 北 市 議 会 議 長	佐 藤 峯 夫 様
仙 北 市 教 育 委 員 会 委 員 長	佐 久 間 健 一 様

仙北市監査委員 三 浦 一 平

仙北市監査委員 藤 原 助 一

平成 1 9 年度財政援助団体監査の結果について

地方自治法第 1 9 9 条第 7 項の規定により、平成 1 9 年度の財政援助団体監査を実施したので、その結果を同条第 9 項の規定により報告します。

目 次

第 1	監査の期間	1
第 2	監査の対象及び執行年月日	1
第 3	監査の方法	2
第 4	監査の結果	2
	角館のお祭り保存会	3
	仙北市スポーツ少年団	5
	仙北市青少年交流事業実行委員会	7
	仙北市産業祭実行委員会	9
	角館町樺細工伝統工芸展	11
	角館町樺細工振興育成協会	12
	かくのだてフィルムコミッション	14
	西木観光協会	15
	玉川ダム交流会実行委員会	17
	仙北市遭難対策委員会	19
	仙北市民生児童委員協議会	20
	仙北市遺族連合会	21

平成 1 9 年度財政援助団体監査報告書

第 1 監査の期間

平成20年2月20日から同年2月28日まで

第 2 監査の対象及び執行年月日

平成19年度の財政援助団体監査については、平成18年度に市が補助金、交付金等の財政的援助を与えた団体（財政援助団体）の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

執行年月日	監査対象団体	補助金等名称	所管部課等名
2月20日(水)	角館のお祭り保存会	角館のお祭り保存会補助金	教育委員会 文化財課
2月20日(水)	仙北市スポーツ少年団	仙北市スポーツ少年団本部補助金	教育委員会 生涯学習課
2月20日(水)	仙北市青少年交流事業 実行委員会	仙北市青少年交流事業補助金	教育委員会 生涯学習課
2月21日(木)	仙北市産業祭実行委員会	仙北市産業祭実行委員会負担金	産業観光部 農政課
2月21日(木)	角館町樺細工伝統工芸展	角館町樺細工伝統工芸展負担金	産業観光部 商工課
2月21日(木)	角館町樺細工振興育成協会	伝統工芸樺細工技能後継者育成事業補助金	産業観光部 商工課
2月21日(木)	かくのだてフィルムコミッション	かくのだてフィルムコミッション補助金	産業観光部 観光課
2月21日(木)	西木観光協会	西木観光協会補助金	産業観光部 観光課
2月25日(月)	玉川ダム交流会実行委員会	玉川ダム交流会実行委員会負担金	総務部 企画政策課
2月28日(木)	仙北市遭難対策委員会	仙北市遭難対策委員会負担金	市民福祉部 環境防災課
2月28日(木)	仙北市民生児童委員協議会	仙北市民生児童委員協議会補助金	市民福祉部 福祉事務所社会福祉課
2月28日(木)	仙北市遺族連合会	仙北市遺族会運営費補助金	市民福祉部 福祉事務所社会福祉課

第3 監査の方法

監査対象団体に係る出納その他事務の執行について、適正かつ効率的に行われているか、また、それに関する所管課等の事務が適正に執行されているかについて、関係諸帳簿の提出を求め、関係職員から説明を聴取し、その他必要と認めた監査手続きを実施した。

なお、監査における主な着眼点は下記のとおりである。

（財政援助団体関係）

- ・補助金等の交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。
- ・補助事業は、目的に沿って適正且つ効率的に執行されているか。
- ・補助金等に係る収支の会計経理は、適正に行われているか。
- ・補助金等の算定は、適正に行われているか。
- ・帳簿の整理、記帳は適正か。領収書等の証拠書類の整備、保存は適正に行われているか。

（所管課等関係）

- ・補助金等の財政援助の決定は、法令等に適合しているか。
- ・補助金交付要綱は、整備されているか。
- ・補助金等の交付目的及び補助金等対象事業の内容は、明確にされているか。
- ・補助金等の額の算定、交付申請及び交付決定の時期、手続き等は適正に行われているか。
- ・補助金等の効果及び条件の履行の確認は、実績報告等によりなされているか。
- ・団体への指導監督は、適切に行われているか。
- ・補助金等の交付目的や効果等から判断して、統合、廃止等の見直しの必要がないか。

第4 監査の結果

監査の結果、補助金等は交付目的に沿って執行されており、出納その他の事務は概ね適正に処理されているものと認められたが、一部に改善を要する事項が認められたので、今後の事務処理に万全を期されたい。

また、補助金交付要綱が未整備のものについては、速やかに制定し、適正な補助金交付事業の執行に努められたい。

各団体の概要等は、次のとおりである。なお、監査の際に見受けられた事務処理上留意すべき軽微な事項については、担当者に対して改善又は検討を要望したので、記述を省略した。

角館のお祭り保存会

- | | |
|--------------|---|
| 1. 補助金等の名称 | 角館のお祭り保存会補助金 |
| 2. 担当部課等名 | 教育委員会 文化財課 |
| 3. 補助金等交付金額 | 500,000円 |
| 4. 補助金等交付年月日 | 平成18年8月10日 |
| 5. 補助金等交付根拠等 | 無 |
| 6. 事業の目的 | 国重要無形民俗文化財に指定されている「角館祭りのやま行事」を伝統を誇る民俗行事として広く内外に周知し、正しく次代に伝え、永く保存していくことを目的とする。 |
| 7. 事業の内容 | 全国山・鉦・屋台保存連合会負担金
全国山・鉦・屋台保存連合会総会参加
おやま囃子コンクール開催（9月8日）
おやま囃子芸能発表会（2月11日） |
| 8. 事業の効果・実績 | <p>全国山・鉦・屋台保存会連合会は毎年欠かさず会長・役員が出席。祭りの伝統をどう保存・継承するか。また、関わる技術・保存のありようなど、文化庁の指導のもと研鑽され、研究会を通して、伝達される。</p> <p>おやま囃子コンクールは各丁内の囃子方、踊り子の腕を競わせることで、技術の向上と共に伝承の意識も高める効果もある。</p> <p>芸能発表会も同じように、小さい子供の手踊りから、熟練された大人の女性の妖艶な手踊りも見られ、団体の素晴らしいお囃子も来場者を楽しませていて、この発表会をきっかけとして、お囃子や手踊りに興味をもった若い世代の人達の育成にもつながっている。</p> |

９．平成１８年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 補 助 金	500,000	会 議 費	7,070
会 費	106,000	負 担 金	100,000
協 賛 金	20,000	事 業 費	100,000
雑 収 入	189	事 業 費	326,557
繰 越 金	9,449	事 業 費	81,167
繰 入 金	126,500	報 償 費	71,500
		事 務 費	7,680
合 計	762,138	合 計	693,974
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			68,164

仙北市スポーツ少年団

1. 補助金等の名称 仙北市スポーツ少年団本部補助金
2. 担当部課等名 教育委員会 生涯学習課
3. 補助金等交付金額 2,000,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年6月30日
5. 補助金等交付根拠等 仙北市スポーツ少年団補助金交付要綱
6. 事業の目的 スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の心身の健全な育成に資することを目的とする。
7. 事業の内容 平成18年5月17日に仙北市スポーツ少年団設立総会を開催し、町村合併前の3つのスポ少が統一され、仙北市スポーツ少年団が誕生。
7月末までに日本スポーツ少年団への登録作業（仙北市分）を終え、県に報告。
9月初旬まで全団に育成費を支給。
全県大会以上の大会に参加した団に仙北市スポーツ少年団補助金交付要綱により大会派遣費を助成。
8. 事業の効果・実績 (効果)
団員の経済的負担を軽減し、体力育成・活動の充実・認定指導者の能力向上・大会派遣費の補助等に寄与する。
(実績)
団総数は38団、団員総数は922名、指導者総数（本部登録者も含む）は335名。各団に育成費補助金として一律30,000円を支給。育成費補助金総額は1,140,000円。
また、派遣費補助金は県大会以上の大会に参加した7団に対し総額991,206円を支給。

9 . 平成 1 8 年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 補 助 金	2,000,000	総 務 費	910,370
登 録 料	1,222,000	会 議 費	6,000
雑 収 入	582	通 信 運 搬 費	30,000
繰 越 金	406,582	旅 費	11,760
		負 担 金	45,000
		登 録 費	802,500
		消 耗 品 費	14,690
		手 数 料	420
		事 業 費	2,131,206
		育 成 費	1,140,000
		大会派遣費	991,206
		予 備 費	5,000
合 計	3,629,164	合 計	3,046,576
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			582,588

仙北市青少年交流事業実行委員会

1. 補助金等の名称 仙北市青少年交流事業補助金
2. 担当部課等名 教育委員会 生涯学習課
3. 補助金等交付金額 500,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年6月20日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 友好都市・姉妹都市等の青少年との共同生活を通して、
他を理解し、自己を律し友達を思いやる心の大切さを学び、
指導者の方々に感謝する心、規律や礼儀などの社会性と豊
かな心を育てることを目的とする。
7. 事業の内容 (1) 茨城県高萩市・常陸太田市との交流事業
【仙北市が訪問】
期 日：平成18年7月28日(金)～7月30日(日)
参加人数：仙北市内小学校5・6年生 21人
常陸太田市小学生 19人
高萩市小学生 約50人
内 容：史跡めぐり・そば打ち体験・祭り参加
御輿体験
(2) 茨城県高萩市との交流事業～アドベンチャートラベル888～
【高萩市が来市】
期 日：平成18年8月19日(土)
参加人数：仙北市内小学校5・6年生 14人
高萩市小学校6年生 92人
内 容：武家屋敷通り散策・イタヤ細工体験
8. 事業の効果・実績 お互いの市を訪問しあい、それぞれの歴史・文化・産業
・気候風土に直接触れ合うことによって、さらに深く交流
の輪を広げていくことができる。

9 . 平成 1 8 年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
茨城県高萩市・常陸太田市交流事業【仙北市が訪問】			
市 補 助 金	450,000	宿 泊 代	382,200
参 加 費	210,000	昼 食 代	51,870
雑 収 入	21	旅 行 保 険 代	13,000
		高 速 道 路 代	51,450
		燃 料 代	31,110
		記 念 品 代	7,600
		飲 物 代	2,000
		随 行 旅 費	35,400
		予 備 費	56,792
計	660,021	計	631,422
茨城県高萩市交流事業～アドベンチャートラベル888～【仙北市を訪問】			
市 補 助 金	50,000	イタヤ体験学習代	7,500
		昼 食 代	13,200
		記 念 品 代	26,008
		石黒家入館料	1,500
		飲 物 代	13,650
		予 備 費	2,835
計	50,000	計	64,693
合 計	710,021	合 計	696,115
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			13,906

仙北市産業祭実行委員会

- | | |
|--------------|---|
| 1. 補助金等の名称 | 仙北市産業祭実行委員会負担金 |
| 2. 担当部課等名 | 産業観光部 農政課 |
| 3. 補助金等交付金額 | 1,500,000円 |
| 4. 補助金等交付年月日 | 平成18年10月10日 |
| 5. 補助金等交付根拠等 | - |
| 6. 事業の目的 | あらゆる産業に関係する市民が一堂に会し、明日の産業の振興と商工業の躍進に寄与することを目的とする。 |
| 7. 事業の内容 | 農林産物の展示
特産品料理コンクール
森林工芸展
ふれあいの学校給食展
農業者年金、農業経営、集落営農相談コーナー
ごはんの食味分析
各種青空市場
歌謡・演劇ショー 等 |
| 8. 事業の効果・実績 | 約3,000人の市民が訪れ、農作物の出来映えを確認したほか、農業関係の相談にふれ明日の営農に役立てた。また、地元の食材を利用した食堂や演劇等の娯楽にもふれ、今年の出来秋に感謝した。 |

9 . 平成 1 8 年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 負 担 金	1,500,000	報 償 費	103,000
J A 秋 田 お ば こ 負 担 金	350,000	消 耗 品 費	406,314
仙北農業共済組合負担金	50,000	食 料 費	58,153
仙北東森林組合負担金	100,000	燃 料 費	4,938
仙北市商工会負担金	100,000	賞品・記念品代	402,621
雑 収 入	96,449	印 刷 製 本 費	227,389
前 年 度 繰 越 金	1,460,073	折 込 代	55,825
		イベント開催費	769,135
		会 場 整 備 費	414,000
		通 信 費	77,638
		委 託 料	172,940
		助 成 金	100,000
		買 取 金	101,380
合 計	3,656,522	合 計	2,893,333
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			763,189

10 . 要 望 事 項

翌年度繰越金が多額になっており、事業費の見積もりに計画性の欠如が伺える。

平成18年度単年度で見ると、実質赤字となっており、前年度繰越金頼みとなっている。

産業振興と市民の交流の場として、計画性を持った事業運営に努めていただきたい。

角館町樺細工伝統工芸展

1. 補助金等の名称 角館町樺細工伝統工芸展負担金
2. 担当部課等名 産業観光部 商工課
3. 補助金等交付金額 200,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年9月11日
5. 補助金等交付根拠等 -
6. 事業の目的 本市の特産品はもとより国の伝統的工芸品である樺細工の普及啓発、販路開拓を図ることを目的とする。
7. 事業の内容 展示会のチラシ作成
展示会のラジオCM
旅行雑誌等の広告掲載
その他、展示、販売等に必要な事項
8. 事業の効果・実績 樺細工の販路開拓、伝統技術、技法の公開
新製品の発表、展示
9. 平成18年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
市負担金	200,000	旅費	9,980
売上手数料	888,409	人件費	166,500
繰越金	342,931	報償費	364,915
雑収入	105,165	需用費	411,398
		役務費	29,555
		販売促進費	338,100
		予備費	500
合計	1,536,505	合計	1,320,948
翌年度繰越額(収入合計-支出合計)			215,557

10. 要望事項 翌年度繰越金の額が市負担金(補助金に該当)を上回っており、公益性の見地から、負担金(補助金)交付額を減額する等適切に処理していただきたい。

角館町樺細工振興育成協会

1. 補助金等の名称 伝統工芸樺細工技能後継者育成事業補助金
2. 担当部課等名 産業観光部 商工課
3. 補助金等交付金額 930,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年7月12日
5. 補助金等交付根拠等 伝統工芸樺細工技能後継者育成実施要綱
6. 事業の目的 伝統的工芸品、樺細工を守り発展させるために後継者育成の抜本対策として、樺細工技能者育成資金を助成し、樺細工技能後継者を育てることを目的とする。
7. 事業の内容 樺細工技能後継者育成研修生が樺細工技能後継者育成指導員のもとに一体となってその技術指導を受け、研修期間は5年間、研修日数は原則として月20日以上とする。
研修生が技術の習得をするために当初必要な作業道具等の購入に対して支度金50,000円を支給する。
育成資金の支給期間は5年間とし、研修生一人につき3年間は月額80,000円、4年目、5年目は月額50,000円を指導員に支給する。
8. 事業の効果・実績 伝統工芸品「樺細工」の産地としての存続と継続的発展

9. 平成18年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
市負担金	180,000	旅費	263,600
問屋会負担金	250,000	会議費	59,691
制作者協会負担金	40,000	通信運搬費	1,260
市補助金	930,000	後継者育成助成金	930,000
その他補助金	53,500		
雑収入	697		
繰越金	752,661		
合計	2,206,858	合計	1,254,551
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			952,307

10. 要 望 事 項

翌年度繰越金の額が市負担金(補助金に該当)を上回っており、公益性の見地から、負担金(補助金)交付額を減額する等適切に処理していただきたい。

かくのだてフィルムコミッション

1. 補助金等の名称 かくのだてフィルムコミッション補助金
2. 担当部課等名 産業観光部 観光課
3. 補助金等交付金額 400,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年7月20日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 ロケ誘致活動等のより一層の充実と新しい仙北市をアピールすることを目的とする。
7. 事業の内容 撮影活動の誘致、促進
映画、テレビ等の撮影支援
地域への周知、気運の醸成
ラジオ5件、TV撮影18件、雑誌2件、その他1件
8. 事業の効果・実績 ロケ誘致活動や撮影支援等による観光振興と地域の活性化

9. 平成18年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 補 助 金	400,000	事 業 費	282,120
繰 越 金	58,927	負 担 金	100,000
雑 収 入	81	事 務 費	4,590
合 計	459,008	合 計	386,710
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			72,298

西木観光協会

- | | |
|--------------|--|
| 1. 補助金等の名称 | 西木観光協会補助金 |
| 2. 担当部課等名 | 産業観光部 観光課 |
| 3. 補助金等交付金額 | 440,000円 |
| 4. 補助金等交付年月日 | 平成18年11月10日 |
| 5. 補助金等交付根拠等 | 西木観光協会補助金交付要綱 |
| 6. 事業の目的 | 周辺地域との連携を図りながら、地域の持つ資源・魅力を広域的に共有し、相互の機能を効率的な配置と効果的利用により、広域観光の振興を図ることを目的とする。 |
| 7. 事業の内容 | 事業活動
イベント用テント購入（1張）
観光宣伝・キャラバン
11月8日～9日 仙北市観光キャラバン参加（横浜市）
関連行事への協力（後援・協賛）
・上桧木内の紙風船上げ／第11回戸沢氏祭／中里のカンデッコあげ／松葉・相内の裸参り
・第8回田沢湖ツーデーマーチ／第21回田沢湖マラソン／秋田わか杉国体クイズラリー／秋田岩手うまいもの祭り／こまち10周年記念スタンプラリー／ギュッ！と県南スタンプラリー／地域きらめき観光写真コンクール |
| 8. 事業の効果・実績 | 市や田沢湖、角館両観光協会と連携を図りながら、観光PR活動や各種イベント協力などを行い、広域的な観光振興が図られた。 |

９．平成１８年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 補 助 金	440,000	事 務 費	99,765
会 費	126,000	事 業 費	231,359
雑 入	9,298	報 償 費	10,720
繰 越 金	121,364	旅 費	43,000
		需 用 費	76,499
		通 信 費	6,140
		負 担 金	95,000
		事 業 費	222,180
		協会事業活動費	180,180
		広 告 費	42,000
合 計	696,662	合 計	553,304
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			143,358

玉川ダム交流会実行委員会

1. 補助金等の名称 玉川ダム交流会実行委員会負担金
2. 担当部課等名 総務部 企画政策課
3. 補助金等交付金額 300,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年7月20日
5. 補助金等交付根拠等 玉川ダム交流会実行委員会会則
6. 事業の目的 「河川愛護月間」及び「森と湖に親しむ旬間」行事の一環として、水源地である仙北市と玉川流域圏及び受益地の児童との交流を図る中で、ダムの持つ役割と森林が有する緑の空間、ダム湖を中心とした自然の魅力に親しむ機会を提供し、それらの持つ意義や必要性への理解を深めることを目的に「玉川ダム交流会」を実施する。
7. 事業の内容 玉川ダム竣工以前の昭和62年から実施しており、今年度で21回の開催を数える。(小学校4年生を対象)
玉川ダム施設・玉川発電施設等の見学
記念撮影
交流フリータイム(学習コーナー・クイズコーナー・実験コーナー・玉川に生息する魚の展示・コースターづくり)
魚のつかみ取り
お別れ会(風船上げ)
感想作文集の作成
8. 事業の効果・実績 ダムや森林の持つ機能などに対する理解を深めるという観点から、また総合学習の一環としても参加校からは好評を得ており、各校から継続参加が望まれている。玉川ダムの竣工から20年近くが経過し、建設当時の注目度や期待の大きさに比べ、ダムが建設されるまでの経緯やダムが果たす役割に対する意識は年々希薄になりつつあり、事業の継続はより重要となっている。また、これまでに玉川ダム交流会に参加した児童数は、水源地の仙北市、流域の大仙市、受益地の秋田市から、延べ約6,000人になるほか、第1回目の参加児童(当時10歳)が30歳になることから、親子2代での玉川ダム交流会への参加という

ことも現実になり、継続による事業目的の普及拡大が期待できる。

9 . 平成 1 8 年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
会 費	430,000	事 業 費	424,500
仙 北 市	300,000	事 務 費	840
秋 田 森 林 管 理 署	30,000		
鎧畑ダム管理事務所	50,000		
玉 川 発 電 事 務 所	50,000		
繰 越 金	7,805		
雑 入	23		
合 計	437,828	合 計	425,340
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			12,488

仙北市遭難対策委員会

1. 補助金等の名称 仙北市遭難対策委員会負担金
2. 担当部課等名 市民福祉部 環境防災課
3. 補助金等交付金額 130,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年6月20日
5. 補助金等交付根拠等 -
6. 事業の目的 仙北市地域内及び周辺地域における遭難事故防止についての啓発宣伝、調査研究及び施設の整備促進並びに遭難事故が発生した場合における必要な搜索救助活動を行うことを目的とする。
7. 事業の内容 秋田県山岳遭難防止連絡協議会への参加
仙北市遭難対策委員会開催
山岳遭難搜索救助訓練への参加
駒ヶ岳登山者への事故防止啓発活動
冬山遭難搜索救助訓練実施
遭難搜索救助事案への行動隊派遣
8. 事業の効果・実績 委員会参加機関による連携により、市内における遭難及び行方不明事案への行動隊早期派遣が可能となり、搜索救助活動が迅速に行われた。

9. 平成18年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 負 担 金	130,000	総 務 費	252,340
搜索費負担金	315,800	搜 索 費	315,800
繰 越 金	169,490		
雑 入	108		
合 計	615,398	合 計	568,140
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）			47,258

仙北市民生児童委員協議会

1. 補助金等の名称 仙北市民生児童委員協議会補助金
2. 担当部課等名 市民福祉部 福祉事務所社会福祉課
3. 補助金等交付金額 6,040,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年5月10日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 角館町・田沢湖・西木町民生児童委員協議会の連携と組織的活動を推進し、民生委員法第14条及び24条に定める任務の遂行と円滑な運営を図り、なお一層、社会福祉の進展に寄与することを目的とする。
7. 事業の内容 単位民児協との連絡調整
地域福祉の推進に関する企画、情報交換、調査及び研究会員の資質向上を図るための研修及び行事の実施
関係行政機関及び諸団体との連絡、提携及び協力
会員に対する弔慰金等の給付
その他、目的達成のための必要な事業
8. 事業の効果・実績 高齢者、要介護者、障害者及びひとり親家庭を要する人々が、地域の中で健康で生きがいを持ち安心して暮らすため、住民による福祉社会形成に向けた計画的且つ積極的な取り組みの中核として、また福祉サービス推進役としての組織体制を強化することにより、住民福祉向上に効果がある。

9. 平成18年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
県 負 担 金	6,193,080	会 議 費	133,911
市 補 助 金	6,040,000	事 務 費	12,920
会 費	841,500	事 業 費	101,304
雑 入	68	交 付 金	12,079,500
		負 担 金	732,600
		諸 支 出 金	5,000
合 計	13,074,648	合 計	13,065,235
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）		9,413	

仙北市遺族連合会

1. 補助金等の名称 仙北市遺族会運営費補助金
2. 担当部課等名 市民福祉部 福祉事務所社会福祉課
3. 補助金等交付金額 70,000円
4. 補助金等交付年月日 平成18年10月30日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 仙北市の戦没者の英霊をまつり、遺家族の親睦を図るとともに、その福祉増進を図ることを目的とする。
7. 事業の内容 戦没者英霊の弔慰に関する事項
遺族に対する援護及び福祉に関する事項
遺族の研修と親睦に関する事項
各地区遺族会の連絡調整に関する事項
その他目的達成に必要と認める事項
8. 事業の効果・実績 仙北市戦没者遺家族の親睦を図ることにより、遺家族の援護、福祉増進を行う。

9. 平成18年度決算状況

収入の部			支出の部		
項	目	決 算 額	項	目	決 算 額
会	費	108,600	会	議 費	160,560
負	担 金	667,800	事	務 費	4,878
市	補 助 金	70,000	旅	費	6,520
還	付 金	57,880	事	業 費	8,240
雑	入	37,022	負	担 金	621,300
			補	助 金	105,000
			予	備 費	8,000
合	計	941,302	合	計	914,498
翌年度繰越額（収入合計 - 支出合計）					26,804